

名古屋名南ロータリークラブ

■承認/1991年3月8日 ■例会日/火曜日・PM6:30 ■例会場/名古屋マリオットアソシアホテル
 ■会長/山本 郁矢 ■幹事/入谷 直行 ■会報・雑誌・広報委員長/細井 俊男
 ■事務局/〒450-6002 名古屋市中村区名駅1丁目1番4号 名古屋マリオットアソシアホテル 2202号
 TEL.052-586-2043 FAX.052-586-2054



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために
 2011-2012年度 RI 会長 カルヤン・パネルジー

URL <http://www.meinan-rotary.com> E-mail info@meinan-rotary.com

第991回

2012年2月28日(火) 晴 第32回

～世界理解月間～

斉唱 我等の生業
 出席 会員63名(出席率算入人数57名)
 出席48名 出席率84.21%
 前々回補填率96.49%(2月14日分)

会長あいさつ

会長 山本 郁矢さん

皆様、こんばんは。

先週のI.M.につきまして、ご協力をいただき、改めて感謝を申し上げたいと思います。実行委員長の山本さん、副実行委員長の川辺さん、本当にご苦勞様でございました。また、皆様には2時から長い時間ご協力をいただき、誠にありがとうございました。



さて、本日4時半から市内24RCの社会奉仕委員長会議がございました。1人当たり2,000円を24RCのメンバーにご奉仕願ひ、それをNPO法人や社会奉仕団体に支援するという事で、その支援団体へ目録贈呈がございました。

NPO法人アレルギー支援ネットワーク、50万円。NPO法人セカンドハーベスト名古屋、50万円。社会福祉法人むつみ福祉会、100万円。AJU車いすセンター、70万円。名古屋市児童養護連絡協議会、100万円です。

ちなみに、アレルギー支援ネットワークは、食物アレルギーのある子供の支援団体です。セカンドハーベストは、まだ食べられるのに販売されなくなった食品を、困窮者へ支援する団体です。むつみ福祉会は、重症身障者の施設の耐震工事の調査費用です。AJU車いすセンターは、所有している車椅子の修繕費です。名古屋市児童養護連絡協議会は、長島スパワールドのアンパンマンミュージアムに、子供と付き添いの大人約180名を連れて行ったという事です。

今年は、24RC社会奉仕委員会のホストクラブです。鈴木委員長が中心となって委員会が進められております。また次回からも、皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

幹事報告

幹事 入谷 直行さん

1. 東南RCから春の家族会でミュージカルとその裏側ツアーへのお誘いがありました。これは強制ではありません。事務局で一括申し込みいたしますので、ご興味のある方はご参加いただきたいと思います。
2. 海外出張届けが出ております。杉山隆秀さん、3月1日～8日、行き先はアメリカです。
3. 次週3月6日の午後5時よりパインにて理事会が開かれます。

ニコボックス

- ◆ 本日は久しぶりの卓話です。よろしくお祈いします。
坂本 晃さん
 - ◆ 坂本晃さんの卓話、楽しみにしています。
加藤 英敏さん 浅井 浩さん 中村 勝さん
江松 央統さん 川瀬 悟さん 入谷 直行さん
安藤 修さん 伊藤 圭一さん 細井 俊男さん
児島 徳和さん 大平 明子さん 有川 英敏さん
長尾 浅吉さん 三島多恵子さん 坂田 信子さん
宮崎 良一さん 伊藤 博昭さん 本多 利郎さん
大橋さなえさん 榊原 和美さん 白銀 義昭さん
林 隆二さん 野々村憲吾さん 白藤 憲雄さん
牧野 好弘さん 水野 俊男さん 川辺 清次さん
森田敏二三さん 木下 福郎さん 久米 伸治さん
猪村 美之さん 新原 尚さん 中西 芳子さん
杉山 隆秀さん 杉本 勇さん 佐々木元彦さん
三浦 隆さん
 - ◆ 西名古屋分区I.M.を滞りなく終えることが出来ました。皆さんのご支援、ご協力に対し感謝申し上げます。
山本 誠一さん
 - ◆ I.M.ホスト御苦勞様でした。
三浦 和人さん
- 本日合計 50,000円 累計 1,039,000円

委員会報告

- I.M. 実行委員会 委員長 山本 誠一さん
先週、西名古屋分区のI.M.が行われ、滞りなく終了する事ができました。手前味噌ですが、出席したメンバーには好評だったと思っております。これも皆様のご支援、ご協力のお陰だと感謝しております。簡単ではございますが、実行委員長として一言

お礼のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

■国際奉仕委員会 委員長 浅井 浩さん

台北ミレニアムRCへの訪問についてですが、全体のスケジュールの大枠ができましたので、鈴木副委員長にまとめていただいております。まとめ次第、出席される方へ再度ご案内いたします。

会 員 卓 話

■坂本 晃さん

私は平成3年に名南RCに入り20年余ですが、今回3回目の卓話は、般若心経についてお話をさせていただきます。

まず、般若心経の誕生についてですが、西暦250年（釈迦滅後600年）ナーガルジュナが大乗仏教を打ち立て、600巻の「大般若経」を作成しました。お釈迦様の時代は紙で残す事ができなかったもので、言い伝えで600年経ち、仏教がばらばらになってしまいましたので、それをまとめるという作業をナーガルジュナがやられました。お釈迦様は出家する人を前提にした小乗仏教でしたが、ナーガルジュナは、在家の人も仏教で救済するという事で、大きな乗り物、大乗仏教という事を打ち立てました。そのエッセンスが般若心経です。般若心経は262字ですので、600万文字を262字にかなり凝縮したという事です。

西暦600年始め、26歳の玄奘がインドに旅立ちました。唐の都長安を出て、シルクロード、ゴビ砂漠、ヒマラヤを越えて決死の覚悟で旅立ちました。16年かけてナーランダ大学で勉強し、中国に経典を持ち帰りました。その時皇帝が迎え入れ、三蔵という仏教の称号を与えました。西遊記の三蔵法師は個人名ではなく、偉いお坊さんの称号です。

これから般若心経について説明しますが、基本的に2人の現役のお坊さんの本を勉強しました。天台宗の瀬戸内寂聴さんと、臨済宗妙心寺派の芥川賞作家の玄侑宗久さんです。

構成としては、仏教の教えを観音様が釈迦の10大弟子の1人、「智慧第一」のシャーリープトラさんに語りかけるスタイルです。日本の大きなお寺にある舍利殿は、シャーリープトラさんの部屋という意味です。

タイトル摩訶般若波羅蜜多心経の説明です。瀬戸内寂聴さんは正確に日本語に「彼岸に渡るための偉大な智慧の一番大切なお経」と、訳されました。玄侑宗久さんは、わざわざ玄奘さんが中国語に訳さなかった事を日本語に訳すと、ご利益が無くなると言っています。

起の部分の説明です。観自在菩薩 行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空 度一切苦厄

玄奘さんは観音様を、「観自在菩薩」と訳しました。自在に私たちを助けに来てくれる慈愛の深い仏様です。玄奘さんが訳す250年前にインド人の混血のクマラジュという人が「観世音菩薩」と訳し、観音様となります。「観世音菩薩」の意味は、世音を感じ入ってくれる、世の中の声を聞いてくれるあ

りがたい菩薩という意味です。菩薩はインドの言葉で、悟った人間という意味です。我々人間でも菩薩にはなれますが、如来にはなれません。菩薩になる為に、「六波羅蜜」の修行が行われます。布施一物や心を惜しみなく与える事。持戒一悪い事をしない。忍辱一耐える事。精進一努力する事。禪定一心を静かにする事。布施から禪定までのトレーニングをすると智慧が授かるという事です。

「行深般若波羅蜜多時」は、偉大な智慧の修行を行っていた時です。

「照見五蘊皆空 度一切苦厄」は、五蘊は空だと理解し、一切の苦しみから解き放たれたという事です。蘊は包むという意味で、五蘊は人体を構成する色受想行識で、色は身体の色、受は感受作用、想は知覚作用、行は意思の作用、識は知識です。

瀬戸内さんは全て無い、とらわれる物が無いのが空であると言います。玄侑さんは、自立した個はなくて、満々たるエネルギーを溜めた全体があるだけだ。ただその全体は常に変化する。森羅万象は、たまたまそのエネルギーが一時的に凝縮した物に過ぎなくて、常に動いていく。とらえどころがないから空だという事です。全て空だと分かったので、苦しみや災厄から逃れられました。

四苦八苦という仏教の言葉があります。生老病死、愛別離苦、怨憎会苦、求不得苦、五蘊盛苦です。

承の部分の説明です。舍利子 色不異空 空不異色 色即是空 空即是色 受想行識 亦復如是

華嚴の教えと言います。「色不異空 空不異色」全ての現象は、無いと思えばないし、あると思えばある。「色即是空」物に執着する煩惱を空と観じて浄化していく。「空即是色」物はなくともあると同じ衆生に望みを与える。「受想行識」心の働き。「亦復如是」また同じ。

舍利子 是諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不増不減

これは天台の教えで、空の在り様を説明しています。舍利子よ、諸々の法（宇宙を司る理法が支える森羅万象）は全て空である。生ぜず、滅せず、汚れず、清らかでもない、増えもしないし、減りもしない。アインシュタインが宇宙の総エネルギーは常に一定だと言った事と同じ事だと思います。

是故空中無色 無受想行識 無眼耳鼻舌身意 無色声香味触法 無眼界乃至無意識界

これは、「五蘊はない」という事を繰り返し述べています。眼、耳、鼻、舌、身（皮膚）、意（思慮）という人間の情報を収集する器官を六根と言います。色、声、香、味、触、法を六境と言います。器官が収集した情報を脳に伝達する事です。「眼界乃至無意識界」を六識と言ひ、六境を感じ、認識する事です。六根、六境、六識を合わせ十八界と呼び、現象を認識する事です。ただし、現象を認識する人間自体が無であり空であるのなら、何も無いという事です。

無無明 亦無無明尽 乃至無老死 亦無老死尽 無苦集滅道 無智亦無得 以無所得故

「無無明」から「亦無老死尽」は十二縁起の事を言っています。人の世の苦しみは、十二の縁によって生まれます。因があっても縁がなければ結果は出ません。お釈迦様は、人生の苦しみみたいな物は人

間が自分で作り出していると解釈されています。無明が一番条件としては悪く、煩惱の塊で悟りを開けないような状態です。また、愛でも渴愛は良い愛ではありません。そういう原因を作ってしまったという事です。

その後の「無苦集滅道」は、難しい仏教の教えで、四諦（四つの真理）というものがあります。苦諦—「苦」が存在するという真理。集諦—「苦」はなんらかの縁が集まって発生したという真理。滅諦—「苦」は発生した以上滅するものだという真理。道諦—「苦」を滅する実践法（八正道）についての真理です。

八正道とは、正見—正しい見解。正思—正しく考える。正語—正しい言葉。正業—正しい善行を積む。正命—正しい生活をする。正精進—正しい努力をする。正念—煩惱を消すことを念じる。正定—心を静める（禅、写経）。簡単そうで、実は難しいものです。

白楽天と道林禪師という話があります。白楽天は唐の詩人で、エリート役人でした。上海の近くの杭州に赴任時、杭州に入ると、大きな木の上に道林禪師という偉いお坊さんが座禅を組んでいました。白楽天が、「危ないから降りてきなさい。」と言ったら、お坊さんが、「お前の心の方が危ない。煩惱の炎がめらめら燃えているぞ。」と言いました。カチンと来た白楽天は、「お坊さん、ところで仏教の極意とは何ですか。」と、いじわるな質問をしました。お坊さんは、「悪い事をせずに、良い事をいっぱいする事だ。」と、言うのと、白楽天は笑いました。「そんな事、3歳の子供でも知っていますよ。」お坊さんは、「3歳の子供でも知っているが、80歳の老人でも出来ない事なのだよ。」と言ったという話です。そのくらい八正道は結構難しい事なのです。

「無無明」から「亦無老死尽」は、十二縁起が無いし、無尽蔵にあるかも知れない。苦集滅道も無い。智慧も無いし、得も無い。瀬戸内さんが言うには、仏教については、そんなに型にはまる事は無く、自由に色々精進しなさいと言っているという事です。

転の部分です。菩提薩埵 依般若波羅蜜多故 心無罣礙 無罣礙故 無有恐怖 遠離一切顛倒夢想 究竟涅槃

菩提薩埵（菩薩）は般若波羅蜜多に依るが故に心に罣礙（障害）なし。罣礙なきが故に、恐怖あることなし。一切の夢想を離れて、涅槃を完成する。涅槃とは、煩惱の炎が消えて静寂の時の事で、永遠の生命を受けるという意味で、決して亡くなる事ではありません。

三世諸仏 依般若波羅蜜多故 得阿耨多羅三藐三菩提

過去、現在、未来の仏も般若波羅蜜多に依るが故に、「阿耨多羅三藐三菩提」を得たまえり。こどもサンسكريット語で、あえて訳しません。

結の部分です。故知般若波羅蜜多 是大神呪 是大明呪 是無上呪 は無等等呪 能除一切苦 真實不虛

ここで密教がでてきます。

密教というのは、大日如来を根本仏とし、身密、口密、意密を同時に行ずることによって仏の世界に

入っていける。身密とは、手で印を結ぶ事。口密とは、マントラを唱える事。意密とは、大日如来を心に全部入れ込む事です。これを同時に行う事によって救われます。

顕教とは、密教以外の仏教で、お釈迦様は密教が余り好きではなかったようで、六波羅蜜の実践から仏の世界に入る物です。

弘法大師は、密教も顕教もどちらでも良いので、その人に合った方を選べば良いと言われていました。

「大神呪 大明呪 無上呪 無等等呪」と、言うのは、法華経での仏教徒のステージで、それぞれ声聞のとなえる呪文、縁覚のとなえる呪文、菩薩のとなえる呪文、最上の呪文です。般若波羅蜜多の呪文は、一切の苦を除き嘘ではないと言っています。

故説般若波羅蜜多呪 即説呪曰 揭諦揭諦 波羅揭諦 波羅僧揭諦 菩提薩婆訶 般若心経

故に般若波羅蜜多の呪を説く、即ち、呪を説いて曰わく、ギャーテー ギャーテー ハラギャーテー ハラソーギャーテー ポージソワカ 般若心経。これで終わっています。

親鸞は、衆生はあまり教養が無いのだから南無阿彌陀仏だけを唱えれば良いという事を言ってみましたが、お坊さんの中には、今の般若心経の前の部分は必要なくて、最後のマントラだけで良いのだと言う人もいます。宇宙の生命に向かって唱える事によって救われるという事です。これを訳すとありがたいが無いのですが、波羅というのは、彼岸の事で、要は彼岸に行きましょうという掛け声だと思います。なかなか良い言葉だと思います。

般若心経について学んだ事ですが、執着しない、精進する、気にしない、なりゆきまかせ、謙讓の心、平常心でゆく、背伸びしない、布施、諸行無常、禅定です。

色々な課題を自分に与えて勉強してきましたが、心のストレスを解消できる1つの方法ではないかと思えます。私は敬虔な仏教徒ではありませんが、非常に勉強になりました。本日はどうもありがとうございました。

第 993 回例会 (3月13日) のご案内

卓話

名古屋熱田ローターアクトクラブ

副会長兼幹事 山田 葵さん